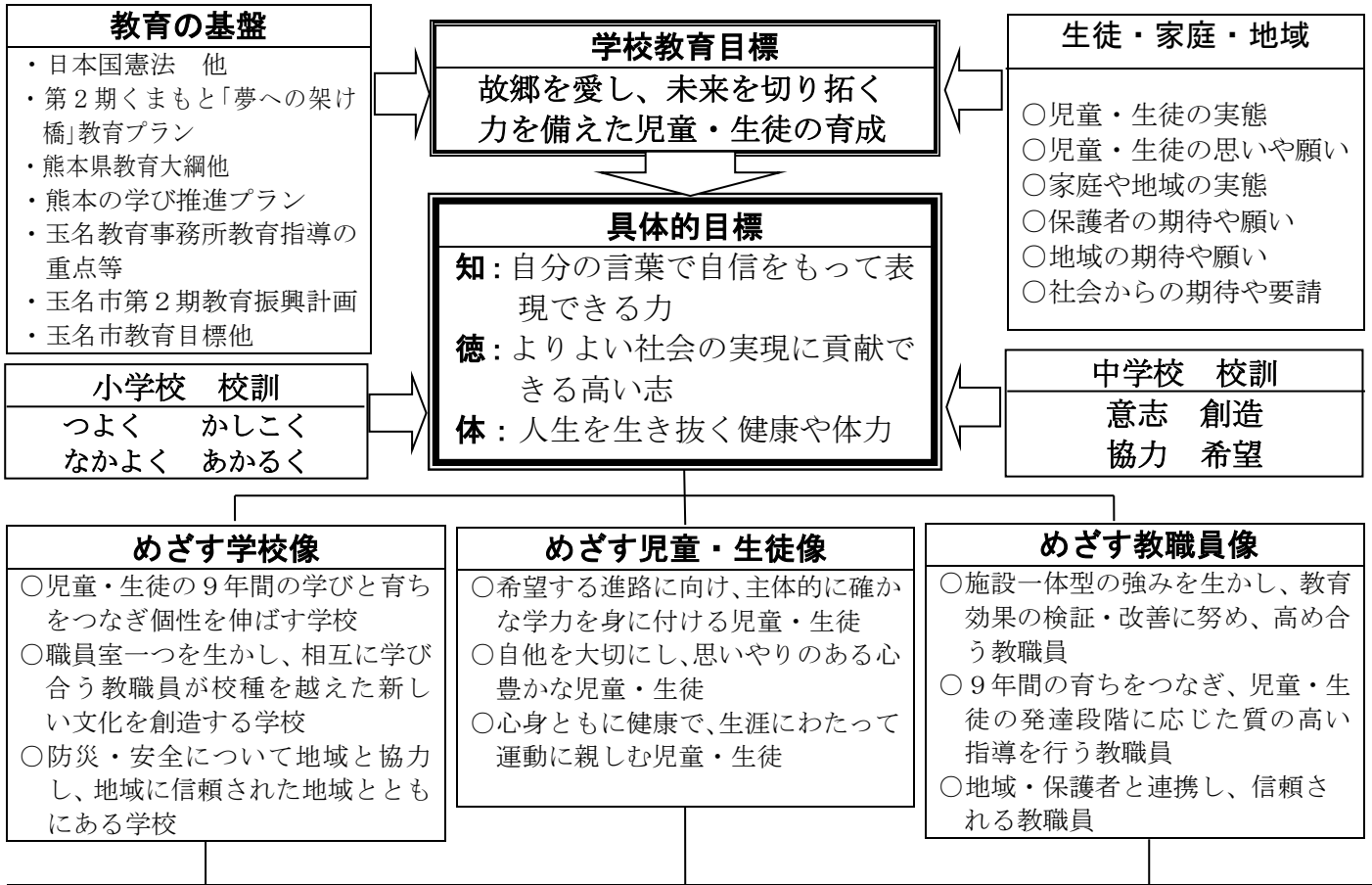


令和2年度 玉陵小中学校 学校教育目標・経営方針・努力目標



経営の基本方針		
(1) 施設一体型の強みを生かした組織力と職員一丸となった9年間の育ちをつなぐ教育活動の実践を行う。 (2) 自ら学び、確かな学力を身に付ける児童生徒を育成するため、授業改善をとおしてすべての教育活動の構築を行う。(系統を考えた授業づくり) (3) 人権教育を教育の根幹に据え、児童・生徒間の自他を大切にし、思いやりのある心豊かで良好な人間関係の構築に努める。 (4) 心身の発達や発育の状況に応じ、心身ともに健康な体力を備えた児童生徒の育成に努める。 (5) 地域とともにある学校づくりを推進するため、学校の公開と保護者、地域の協力体制を確立する。(学校運営協議会との連携) (6) 働き方改革の推進を図ることで職員の心身の健康を保持し、教職としての専門性を高め、より分かりやすい授業を展開する教育活動を充実させる。		

重点努力事項		
心づくり (なかよく・あかるく)	学びづくり (かしこく)	健康づくり (つよく)
1 人権教育の充実 ・支持的風土の醸成を図る。 ・人権尊重の視点に立った心情を養う。 2 豊かな心の育成 ・道徳教育の充実を図る。(9年間の学びをつなぐ道徳科の授業づくり) ・「熊本の心」「つなぐ」の活用推進を図る。 ・命を大切にする心をはぐくむプログラムの充実と確かな実践を図り、情報モラル教育との連携を図る。 3 児童会・生徒会活動の活発化 ・自主的自治的活動を推進し、考え実践する力をつける。 4 潤いのある環境づくり ・UDの視点で整理整頓された環境を作る。	1 学習規律の徹底と基礎・基本の確実な定着 ・玉陵中学校区の共通実践事項を実践する。 ・ノートの活用の徹底を図る。 2 学習過程の充実 ・学び合う学習過程を工夫する。 ・自己の学習を振り返る時間を確保する。 ・ICT等を活用し、主体的に学ぶことができるようにする。 3 読書活動の充実・推進 ・本に親しみ、自ら読書の幅を広げる子どもを育てる。 ・読書量を確保する機会を充実させる。 4 学びを支える家庭学習の習慣化 ・家庭と連携し、家庭学習の習慣化を目指す。(系統表の活用)	1 基本的な生活習慣の充実 ・一日の生活リズムをはじめ、規範意識につながるあいさつや返事等の定着を図る。 2 健康・安全教育の徹底 ・地域の実態に合わせ、交通安全に関する危険予測、危険回避能力を高める。 ・熊本地震の教訓を基に防災教育の充実を図る。 3 体力づくりの推進 ・運動の生活化を推進する。 ・豊かな心づくりを合わせて、自律できるたくましい心を育てる。 4 食に対する指導の充実 ・多様な機会を通じ、食に関する知識と実践的態度を養う。

人権尊重の視点に立った教育実践

学校全体・各学年部・各学級等における具体的な実践事項